

2021年11月5日

映画上映とともに、これまで障がいのある方の文化芸術活動支援に携わってきた福岡市文化芸術振興財団と、ケアの実践者であるNPO法人みんなのプロジェクトが、それぞれの角度でトークイベントを開催！

ドキュメンタリー映画「普通に死ぬ～いのちの自立～」 上映会／トークイベント

重い障がいのある人とその家族、そして支援者が「一緒に生き合う」姿を追ったドキュメンタリー映画「普通に死ぬ～いのちの自立～」の上映会を開催します。上映後は、「“日常”を“表現”する」「“いのちの自立”で暮らす～新たな住まい方へのチャレンジ～」二つのテーマのトークイベントを行います。

▼日時

11月20日(土)

(1) 上映会 10:00 開始 (9:30 開場)

(2) 上映会 14:00 開始 (13:30 開場)

アフタートーク 16:15 開始 (40分程度予定)

【テーマ】“日常”を“表現”する

【内容】上映作品をきっかけに、“日常”と“表現”についてお話しします。障がいを持つ方の文化芸術活動や日常生活の支援に関わる方の体験、当財団の「エイブル・アート事業」「社会参加促進事業」の取り組み等を通じた文化芸術の視点からも語っていただきます。

【登壇者】貞末麻哉子 (映画監督)

水野英尚 (NPO 法人みんなのプロジェクト)

宮本聡 (九州大学大学院人間環境学研究院助教)

進行：三好剛平 (三声舎代表)

11月21日(日)

(3) 上映会 13:00 開始 (12:30 開場)

シンポジウム 15:15 開始 (2時間程度予定)

【テーマ】“いのちの自立”で暮らす～新たな住まい方へのチャレンジ～

【内容】常に重度障がい者に寄り添い伴走し続ける実践者たちの歩みから、“フツウ”とは？“ジリツ”とは？“いのち”とは？それぞれの取り組みの中から語っていただきます。

【登壇者】貞末麻哉子 (映画監督)

李国本修慈 (有限会社しえあど代表)

清水明彦 (西宮市社会福祉協議会副理事長)

▼会場

福岡市科学館サイエンスホール

(福岡市中央区六本松 4-2-1-6 階)



※画像の取り扱いについては裏面を必ずご一読ください。

【お問合せ】

(公財) 福岡市文化芸術振興財団

TEL : 092-263-6265 (平日 9:30 ~ 17:00)

<http://www.ffac.or.jp/news/detail596.html>

【新型コロナウイルス感染症対策について】

※国や自治体の方針、関係団体のガイドラインに沿った開催となります。

▼チケット (各回 100 席)

一般 1,000 円

25 歳以下 800 円

※25 歳以下当日要年齢確認

※車椅子の方・障害者手帳をお持ちの方は、付添者 1 名まで無料。

(11 月 12 日 (金) 17:00 までに財団に要予約)

※イベント中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

▼前売券取扱い

チケットぴあ (P コード: 551-761)

ローソンチケット (L コード: 84146)

主催: (公財) 福岡市文化芸術振興財団、NPO 法人みんなのプロジェクト、福岡市

後援: (一社) 福岡市民間障がい施設協議会、福岡市障がい者生活支援事業所連絡会

助成: 日本財団

映画情報

長編ドキュメンタリー映画 / HD / カラー / 119 分

製作: マザーバード・Cinema Sound Works / 著作・配給: マザーバード / 2020 年度作品

監督・撮影・構成・編集: 貞末麻哉子

プロデューサー: 梨木かおり・貞末麻哉子

録音: 中山隆匡

音楽: 木 -kodama- 霊

ナレーター: 余 貴美子

各メディアに画像を掲載する際は、以下のホームページより使用方法を必ずご確認のうえご使用ください。

▼ドキュメンタリー映画「普通に死ぬ～いのちの自立～」公式ホームページ

<http://www.motherbird.net/~ikiru2/>